

2023年7月1日～2024年6月30日 第5期 事業報告書

団体名	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション
ビジョン	誰もが健やかで心豊かに暮らせる社会を実現する
ミッション	すべての人に最適なヘルスサポートを、迅速かつ継続的に提供できる環境をつくる

1. 主なトピック

① 三菱財団 第54回（2023年度）社会福祉事業助成に採択されました

当団体取り組む

=====

多職種連携で多様な悩みをカバーする「ポケット保健室」

ー若者向けプレコンセプションケアプラットフォーム開発ー

=====

という事業が三菱財団 第54回（2023年度）社会福祉事業助成に採択されました。

これまで働く大人をメインターゲットに運用してきた『CHILWEL』の対象を、学生など若い世代の皆さんにも広げ、“健康”や“性”の疑問を持ったときにサポートが受けられるプレコンセプションケア『ポケット保健室』へとブラッシュアップし、これまで以上に多くの人に、使いたい！使ってよかった！と思われるサービスの実現を目指して事業に取り組みました。本助成金には全国から155件の申請があり、そのうち33件が採択されたとのことで、採択率は21%でした。

② ポケット保健室の開発に先立ち若者の声を聴くワークショップを開催しました

使いたい！使ってよかった！と思われるサービスの実現のために、開発に先立ち学生の皆さんやテーマに関心を持つ大人が”今”と”未来”について自由に意見交換するシミュレーション型のワークショップを3回開催しました。和やかな雰囲気の中で、お互いの発言の中から新たな気づきを得る体験を通して、若者がこのような機会を得ることの大切さを実感しました。



ポケット保健室が目指すもの

若者が直面する性や生殖に関する課題の解決につながるオンラインサービスを、若者のライフスタイルやニーズに応じた形で提供することで、中長期的にも少子化対策や健康寿命の延伸に寄与できる取り組みを目指しています。



③ Instagram【食物アレルギー 妊娠期・乳児期によくある間違い】を開設

アレルギーの予防や、アレルギーを持つ子どもを育てる保護者の不安を軽減する取り組みの一環として【アレルギーを持つ子どもと保護者を支援する会・ふ～やくらぶ】の学術的なサポートを受けて、エビデンスに基づいた最新の情報を分かりやすく伝える Instagram を開設しました。

https://www.instagram.com/baby_foodallergy/

また、Instagram を一人でも多くの妊婦、乳幼児の保護者、そして子育て支援に携わる方々等に知っていただけるよう、案内カードを作成し佐賀県内の市町、小児科、産婦人科等へ配架・配布のお願いを行いました。

【案内カード】

食物アレルギー

【妊娠期・乳児期によくある間違い】

知る事が安心への近道ですよ

発行元：(一社)ヘルスサポートズイノベーション
mail: info@chilwel.jp
学術サポーター：アレルギーを持つ子どもと保護者を支援する会・ふ～やくらぶ
後援：佐賀県 佐賀県小児科医会

溝口 達弘 (医師)

上野 佳代子 (管理栄養士・小児アレルギーエドゥケーター)

室 英理子 (医師)

妊娠中や赤ちゃんを育てている時にママやパパが抱く様々な不安の中でも『アレルギー』に関するものの割合は多いようです。

インターネットで検索すると簡単に情報は手に入りますが、その内容は玉石混合。エビデンス(科学的根拠)に基づいた情報も、常に新しいものに変わり続けています。

このInstagramでは、信頼できる最新の情報をイラストでわかりやすく発信するよう努めています。家族みんなの笑顔と、子どもの健やかな育ちのためにお役にたください。

森田 駿 (医師)

伊東 雅樹 (医師)

とこみとこ (イラストレーター)

村上 美由紀 (事務局)

寺野 幸子 (事務局)

小児アレルギーについて学べる動画も公開中!
<https://chilwel.jp/news/5wbi3w>

④ 医師らと連携し【みんなで学ぶ子どものアレルギー】事業を実施

地域いきいきさがふれあい基金の助成を受け、専門医等の協力を得て小児アレルギー疾患とその対処法に関するオンラインセミナーを開催しました。

オンラインセミナー 計9回

1) みんなで学ぶ子どものアレルギー

【12/17 (食物)、1/28 (アトピー)、2/4 (スキンケア)、2/25 (ぜん息)、3/24(基本)】

2) こどもの食事と食物アレルギー

【12/15（たまご）、1/15（牛乳）、2/16（小麦）、3/15（離乳食）】

■参加者数 総数 452名

12/17 食物 66名

1/28 アトピー 73名

2/4 スキンケア 67名

2/25 ぜん息 38名

3/27 基本 69名 合計 313名

12/15 たまご 9名

1/15 牛乳 28名

2/16 小麦 19名

3/15 離乳食 83名

合計 139

⑤ ポケット保健室をリリース

若者やモニターの声を反映させ、より使いやすく、身近な存在として“毎日の健康をともにデザインする”ポケット保健室をリリースしました。

【新ロゴ】



ポケット保健室
CHILWEL

変更点
1

画面デザイン

- ロゴマークが変わります
- メインカラーがピンクからブルーへ

変更点
2

メニューがシンプルに

5つ

(オンライン相談／オンラインサロン／動画ライブラリ／お役立ち情報／5秒でこころチャート)



2つ

(相談／コンテンツ)

変更点
3

相談ツールをLINEに

これまでチャットとビデオ通話は異なる相談ツールを採用していましたが、今後はLINEに統一します

変更点
4

より幅広い世代に向けて
コンテンツを充実

- 学生や就職したばかりの世代に必要な健康やお金の知識を強化
- 他団体が発信する良質な情報も積極的に紹介

2.まとめ

様々な場面で、非常に多くの個人、団体の方々にご支援、ご協力をいただいた1年間でした。第5期で集めたユーザーの声をもとに、第6期ではさらに大幅にポケット保健室をリニューアルし、ログイン不要、会員制を廃止する方向に舵を切ることが決まりました。引き続き、多くの皆様と連携しながら、団体のビジョンの実現のために着実にミッションを実行してまいります。